

1 本研究授業の提案

人物の関係や心情の変化を読み取り、それを根拠に自分の考えを明確にして、伝え合うことで、登場人物の心情への理解を深めることができる授業。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 読み取ったことを掲示物などで可視化して授業の中で活用し、人物同士の関係や心情の変化を掴みやすくする。
- (2) 児童が見通しをもって協働的な学習に取り組むことができるように課題提示と指示を明確にする。

3 単元名 「風切るつばさ」

4 単元の目標

人物と人物との関係を手がかりに、人物の心情を考えながら読むことができる。

5 指導計画(本時 7/8時間)

次 時	主 な 学 習 活 動	単 元 の 評 価 規 準
一 ①	○学習の見通しを立てる ・教材文を通読し、初発の感想を伝え合う。単元の学習の見通しを立て、学習課題を確かめる。	【関心・意欲・態度】 物語に対して、自分なりに感じたことを進んで伝えようとしている。
二 ② ③ ④ ⑤	○人物と人物との関係を手がかりに人物の心情を読み取る。 第一第二場面を読み、出来事を確かめ、人物関係図を書く。 第一・第二場面のクルルとカララの関係を読み取り、人物関係図にまとめる。 第三場面のクルルとカララの関係を読み取り、人物関係図にまとめる。 第四場面のクルルとカララの関係を読み取り、人物関係図にまとめる。	【読むエ】 登場人物の相互関係や場面の描写を基に登場人物の心情をとらえ、人物関係図や適切なことばで表す。
⑥ ⑦	○物語全体を通してクルルの気持ちがどのように変化したのか読み取る。 ⑦ どうしてクルルが再び飛び立つことができたのか考える。(本時)	【読むエ】 登場人物の関係と心情の変化について読み取ったことを、友達と考えを交流することで、登場の心情への理解を深める。
三 ⑧	○感想を交流する。 ・書いたものを基に友達と交流し、いろいろな感想や考えがあることに気付く。	【書くウ】 人物心情の変化や場面の描写を学習する中で、心に残ったことを書き表す。

6 本時の展開

(1) ねらい

登場人物の関係と心情の変化について読み取ったことを、友達と考えを交流することで、登場の心情への理解を深める。

(2) 指導過程

段階	学習活動	指導事項・留意点・評価
つかむ	1 前時までの学習内容を振り返る。 2 本時の学習課題を知る。	・本時までの学習でまとめた人物関係図を掲示しておく。
3分	クルルがなぜ再び飛ぶことができるようになったのか考える。	

考える (個人) 7分	3 前時に書いた課題についての自分の考えの根拠を書く。 ○前の時間に書いた自分の考えの根拠を、クルルの気持ちに関する叙述、カララの気持ちに関する叙述、その他のことに色分けされた3色の付箋に書き出しましょう。 ・キツネが出てきた。 ・こいつ覚悟しているな。 ・クルルの心が少しずつ解けていった。	・書き出せない児童には、これまでのノートや人物関係図を参考にするように支援する。
グループで考える 18分	4 個人で書いたことを伝え合い、考えを深める。 ①グループに分かれて一人ずつ感想を発表し、付箋を画用紙に貼る。 ②グループごとに課題に対してより説得力のある答えを話し合う。	より説得力のある答えとして三つの視点を示す ①そう言える根拠をより多くの本文を基に考える。 ②物語全体とのつながりとその場面のつながりから考える。 ③色々な見方をする(新しい考えをプラス) <評価> 人物と人物の関係や教科書の叙述から登場人物の心情の変化を読み取り、適切なことばで表現することができたか。
全体で共有する 12分	5 発表をし、全体で共有する。 カララの覚悟が仲間を信頼できなくなり気力を失っていたクルルの心を解かした。キツネが出現し、カララの命を守ろうとする思いが飛び立つきっかけになった。	・児童から意見が出なければ、掲示物を活用して飛べなくなったきっかけである仲間への不信や自己嫌悪にも触れるようにし、カララの覚悟やクルルへの思いが、クルルの気持ちを変えたことに気付かせるようにする。
振り返る 5分	6 今日の学習を通して、課題について新しく気付いたことや改めて感じたことを振り返る。 ワークシートに振り返りを書くようにする。	

(3) 板書計画

カララの覚悟が仲間を信頼できなくなり気力を失っていたクルルの心を解かした。キツネが出現し、カララの命を守ろうとする思いが飛び立つきっかけになった。	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>グループ1の考え</td> <td>グループ2の考え</td> <td>グループ3の考え</td> <td>グループ4の考え</td> </tr> </table>	グループ1の考え	グループ2の考え	グループ3の考え	グループ4の考え	<p style="text-align: right;">風切るつばさ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">         クルルがなぜ再び飛ぶことができるようになったのか考えよう。       </div> <p>①自分の考えを書く</p> <p>②グループ内で発表する。 ・ふせんに自分の考えのこんぎよを書く 青↓クルルに関すること 赤↓カララに関すること 黄↓その他</p> <p>③課題に対するより説得力のある答えを考える。</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その意見に対する根拠となる叙述を見つめる。</li> <li>・物語全体のつながりを考える。</li> <li>・新しい見方を考える。</li> </ul>
グループ1の考え	グループ2の考え	グループ3の考え	グループ4の考え			

(4) 本時の評価

具体的評価基準	人物と人物の関係や教科書の叙述から登場人物の心情の変化について読み取り、適切なことばで表現することができたか。(観察・ワークシート・発言)
Aと判断する姿	課題に対する根拠を、人物と人物の関係や教科書の叙述から見つけ書き出したり、友達に説明したりして表現することができたか。(観察・ワークシート・発言)
Cへの手だて	掲示物やノートを参考にし、自分の考えを持つことができるようにする。